

万博公園探鳥会

2026年3月14日(土)
 田中宏・中筋好子・橋本昌宗・大矢麻由美
 玉置こるり・藤村和彦・平軍二(090-6901-1425)

今月より、藤村和彦様に探鳥会リーダーをお願いしました。よろしくお願いします。

I 万博公園の鳥第9回「イカル」

学名 *Eophona personata* 漢字名 斑鳩
 英名 Japanese Grosbeak

2月の探鳥会ではスタートしてすぐの自然文化園「世界の森」東側のユリノキで、実を食べているイカルの群を観察した。ユリノキは北アメリカ原産のモクレン科の高木、初夏に黄緑色のチューリップに似た花を咲かせることから、英名・学名に Tulipがついており、日本でもチューリップツリーと呼ばれることもある。



ユリノキの実を食べるイカル(橋本昌宗氏)

そのユリノキは実の中心部が飛んで無くなると、写真のように外側の実のみが残り、二度目のチューリップ状の花が咲く。これまでも吹田市千里北公園のユリノキで、イカルの群がユリノキの実に来ているのを何回か観察していたが、今回橋本氏の写真は翼果の付け根の種子のある部分を咥えている(食べている)所を記録した、貴重な写真となった。

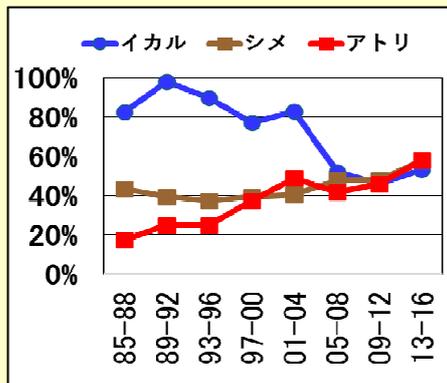
嘴の太いアトリ科の鳥は堅い木の実=乾果(平は液果との対比で使う略称)の、サルスベリ・ハンノキ・オオバヤシヤブシ・アメリカフウ・イロハモミジ・シナサワグルミなどを食べるが、いずれも種子が目に見える木の实である。ユリノキの場合、外見から種子がどこにあるかわからないが、写真のイカルは種子がるとされる付け根部分を咥えていることから、ユリノキの種子を知って食べていることがわかった。

I ②万博の「イカル」は留鳥から冬鳥に →

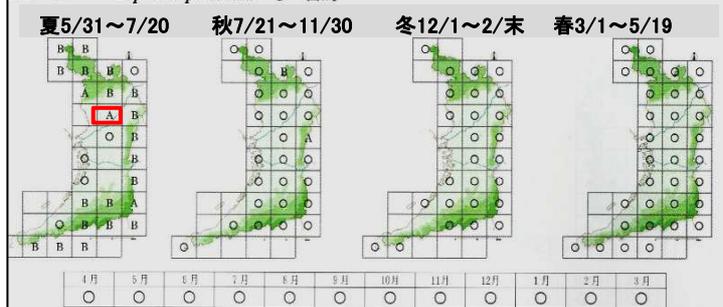
40年前の1985年万博公園探鳥会をスタートした頃は、右図のように毎月の探鳥会で観察でき、園内で繁殖している留鳥であった。

2010年代になるとイカルの観察頻度がダウンし、シメ・アトリと同じ冬鳥レベルとなっている。

2014/7/12にイカルの巣立ち雛を観察したが、その後、繁殖行動は観察していない。



349. イカル *Eophona personata* ○ 留鳥



I ③大阪府のイカル

(大阪府鳥類目録2016)

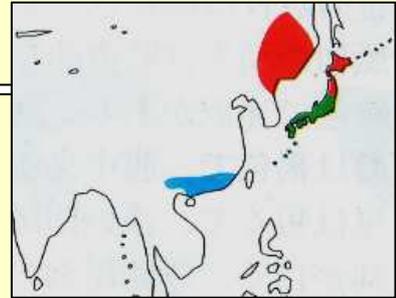
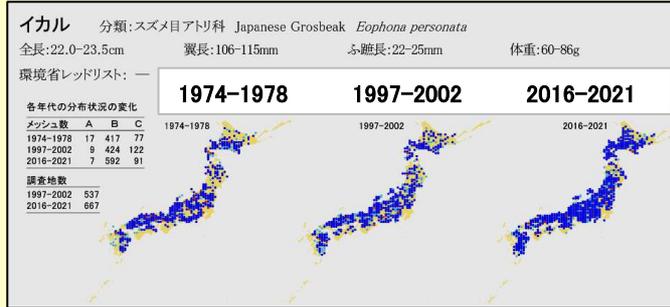
大阪府内一円ではほぼ一年中観察されている。

夏5/31~7/20の赤枠Aランクは上述の通り、2014/7/12に万博探鳥会で巣立ち雛を観察した結果が記録されている。

I ④日本の繁殖分布図

全国鳥類繁殖分布調査2016～2021
(鳥類繁殖分布調査会 2021年)

九州以北の全国に留鳥として分布する。平地から低山の落葉広葉樹林、針広混交林の樹上で繁殖する。過去3回の調査期間を通じて記録メッシュ数が増加している。1990年代と2010年代でほぼ同じコースを調査できた現地調査の記録を見ても、イカルが記録できた地点数は、537地点から667地点へと増加していた。



I ⑤世界の繁殖越冬分布図

真木・大西 日本の野鳥590 2000年 平凡社

イカルの英名にJapaneseが入っている。右図からわかるように、日本が繁殖分布の中心にある。

II 先月2026年2月14日の探鳥会記録

快晴で暖かい探鳥日和、鳥たちは良い顔でバードウォッチャーを迎えてくれました。

夏の花八景東側のユリノキにはイカルの群が、栄養価が高い種子がどこにあるかわからない実を啄んでいた。夢の池ではカンムリカイツブリが1羽、カイツブリと共に泳いでいた。昨年3月に姿を見せたことがあるので同一個体でしょうか、後述のタシギ同様、狭くて人の多い万博公園の池に2年続けてくるメリットが何か、不思議である。上空を3回も飛んだハイタカ、その「ハイタカとは違よ」とばかりに時々ホバリングを見せるチョウゲンボウも飛んでくれた。

開園後55年間の老朽化対策工事の影響からか、水面が下がっていた水鳥の池では、今月の資料に入れたヨシガモ、1羽であったが周囲を動き回るカルガモの群に素知らぬ顔で休んでいた。更に水すましの池上流の草はらでは越冬6年目となり、今シーズンも3か月連続のタシギをじっくり観察できた。冬鳥は個体数が少なかったもののシロハラ・ツグミ・ジョウビタキ・アトリ・シメ・アオジなどが出たことから、トータル37種となり楽しく終えることができた。(写真 橋本昌宗氏)



Ⅲ大阪府鳥類目録の歴史 むくどり通信No.292 2026年3月号

大阪支部90周年記念事業として、鳥類目録の2027年発行を目指し、会員の皆さんの情報提供を呼び掛けています。会報を確認の上、ご協力をお願いします。

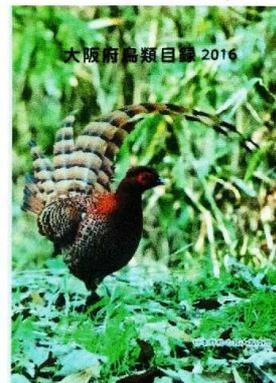
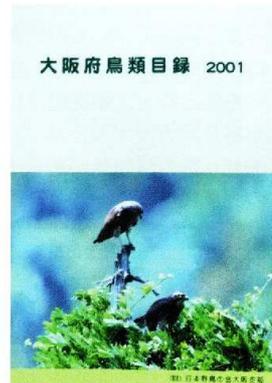
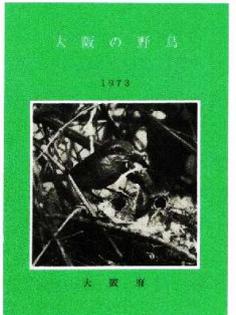
本会がこれまで発行した大阪府の鳥類目録は表1のとおりです。1973年に発行した「大阪の野鳥」は、大阪府からの受託調査として当時支部幹事であった真下弘さんがとりまとめたもので、これが大阪府で公表された最初の鳥類目録です。この目録をベースにして、その後の記録を追加していく形で以降の目録を発行してきました。掲載種数は40年余りの間に94種類も増加しています。したがって、かつて記録があるが、近年記録されていない種なども、当時の記載を参考に目録に掲載されてきました。また目録の発行にあたっては、多くの方からの資料提供を得ていることが分かります。特に「大阪府鳥類目録2016」では実に152名、27団体から資料協力を得ています。

表1 大阪府鳥類目録の変遷

目録名称・体裁	発行年月日	対象期間及び目録掲載種数 付録等	編集委員等 ※代表委員	その他
大阪の野鳥 B5版 31頁	1973年 (昭和48年) 1月	府内で戦後(1945年以降)に記録された270種 飼鳥野生化3種 付録・鳥類生息個体数調査資料 ① 森林の鳥 みのお公園 ② 草原の鳥 寝屋川市点野 淀川 ③ 農耕地の鳥 東住吉区川辺町 ④ カモ類 21か所	真下 弘	発行：大阪府 ・日本鳥類目録 改訂第4版準拠
大阪府鳥類目録 B5版 100頁	1987年 (昭和62年) 11月22日	同 298種 参考記録13種 繁殖可能性高いもの2種 飼鳥野生化10種 付録・地域別鳥類リスト(府内33ヶ所)	※上田恵介、塩田 猛、 森山春樹、納家 仁	資料提供30名 日本鳥類目録改 訂第5版準拠
大阪府鳥類目録 2001 A4版 137頁	2002年 (平成14年) 3月29日	同 334種 参考記録18種 移入種15種 付録・大阪南港野鳥園 シギ・チドリ類最大渡来数 ・地域別鳥類リスト(府内30ヶ所)	榮本和幸、大西敏一、小山慎司、 ※白木信生、高田 博、 納家 仁、林 育三、廣田博厚、 村濱史郎、森山春樹、和田 岳	資料提供61名、 4団体 ・日本鳥類目録 改訂第6版準拠
大阪府鳥類目録 2016 A4版 290頁	2017年 (平成29年) 3月31日	同 2002年4月～2016年3月を追加 364種 移入種21種 計385種 付録・泉大津ハヤブサ繁殖記録表 ・地域別鳥類リスト(府内43ヶ所)	大西敏一、小海途銀次郎、 五條貴子、樁みつよ、納家 仁、 ※廣田博厚、又野淳子、 吉田 學、和田 岳	資料提供152名、 27団体 ・日本鳥類目録 改訂第7版準拠

大阪府鳥類目録の変遷 1973 — 2016

これまで発行した鳥類目録(表紙写真)それぞれ発行時の日本鳥類目録に準拠して編集。今回の発行は第8版に対応したものとなります。



「大阪の野鳥」の発行(1973年)から、「大阪府鳥類目録2016」の発行(2017年)まで44年、この間、府内での分布を拡大した鳥の代表であるイソヒヨドリについて、各目録での記載内容を比較してみました(表2)。こうして並べてみると、前回の目録の記述を参考としながら新しく得た情報を加筆していることがよく分かります。

表2 各鳥類目録におけるイソヒヨドリについての表記

大阪の野鳥 1973年	大阪府鳥類目録 1987年	大阪府鳥類目録 2001	大阪府鳥類目録 2016
203 イソヒヨドリ 冬鳥(8月-10月) 少数 秋に南部の海岸で少数が見られる。和歌山県沿岸のものが繁殖後に北上して漂着してくるものと思われる。 (渡来地)岬町、泉南市樽井、南港	229 イソヒヨドリ 冬鳥(一部留鳥) 繁殖 ▲ かつては冬鳥とされていたが、近年、大和川や淀川などで局地的に少数が周年観察されている。大阪南部の沿岸域では比較的多い。1986年に高石市高砂でヒナのいる巣が発見され、府下で初めて繁殖が確認された。おそらく1984年から繁殖していたと考えられる。1987年にも同じ場所で繁殖した。また箕面公園など、内陸部でも繁殖期の記録があるが、巣はみつかっていない。 ※生息月：1月～12月に○	251 イソヒヨドリ ▲ 留鳥 主に冬期に沿岸部を中心に生息するが、淀川や大和川などで局地的に少数が周年観察される。大阪南部の沿岸地域では比較的記録が多い。府下では1986年に高石市高砂で初めて繁殖が確認され、泉南地方の海岸部を中心に繁殖記録がある。電柱や建物の際間など主に人工構造物に営巣する。海岸部から内陸部に分布を広げてきている傾向があり、和泉市や河内長野市で繁殖が確認されている。 ※生息月：1月～12月に○ 分布図：記録メッシュに○	311 イソヒヨドリ ○ 留鳥 旧北区南部、一部東洋区に分布する。かつては海岸近くで見られる鳥であったが、現在日本各地で内陸に分布を広げている。大阪府では内陸での初記録は、1979年頃で、箕面市箕面駅前でさえずっていたといわれる。その後、1989.3に高槻市、1994年に河内長野野菊水町(繁殖)、1998年に岸和田市久米田池、1999年に豊能町光風台駅と1990年代になり、相次いで内陸で見つかり始めた。1986年に高石市高砂で初めて繁殖が確認されたが、2014年には内陸最奥部の能勢町宿野、千早赤阪村千早、泉佐野市大木ゆかりの里、泉南市信達童子畑でも繁殖が確認された。現在では、一部山地を除くほぼ全域に生息し、海岸を含む平地、丘陵地、山間の集落まで繁殖記録がある。 ※生息月：1月～12月に○ 分布図：夏、秋、冬、春、繁殖メッシュに記号

IV万博公園探鳥会 集合写真集

万博公園は1985年2月にスタート
しましたので、2月探鳥会に集合
写真を撮ってきました。

そのうち何枚か紹介します。



万博公園定例探鳥会 10周年記念 '95.2.11

↑上写真 10周年記念1995年2月

キジがほぼ毎月観察できた頃

- ・万博公園の木々が若く
- ・千里ニュータウンも若く
- ・万博探鳥会参加者も若く
- ・95年2月探鳥会参加者数は129名
- ・観察種数は41種
- ・そして95年10月探鳥会は171名と
参加者最高記録日になった



万博公園定例探鳥会発足20周年

2005年2月12日 日本野鳥の会大阪支部

↑上写真 20周年記念2005年2月

- ・キジは1998年からいなくなっていた
- ・しかし2月の探鳥会では44種確認
これは過去20年間での最高種数



万博公園定例探鳥会 27周年記念
2012.2.11 日本野鳥の会大阪支部

↑上写真 27周年記念2012年2月

- ・観察種数は32種にとどまった
- ・集合写真を太陽の塔前とした



2026/02/14 09:46

万博公園探鳥会(おかげさまで42年目に)

←左写真 先月(2026年2月)

- ・観察種数は37種(次ページ)
- ・2020年コロナ禍により申込制
+定員制としている

V 万博公園にミyakumiyaku (20260312)



「太陽の塔」

55年前千里丘陵で開催された
日本万国博覧会の跡地
万博記念公園のシンボル

「ミyakumiyaku」

昨2025年開催
大阪・関西万博のシンボル

VI 次回 4月11日(土)9:30～ 万博公園探鳥会

繁殖地へ渡去で冬鳥は
日々に減りつつあるが、
入れ替わりに夏鳥のツ
バメが飛び始め、渡り
鳥のニューナイスズメ
が通過している。

今日と同様、大阪支部
HPのホームズ様式から
お申し込みください。



ニューナイスズメ(20250412)橋本昌宗氏

VII 万博公園探鳥会 観察鳥チェックリスト(第8版ベース)

万博 NO	第8 版	種名	2024				2025				2026				第8 版
			12	1	2	3	12	1	2	3	12	1	2	3	
			14	11	8	8	13	10	14	14	14	11	8	8	
1	21	オシドリ			2	1								21	
2	23	トモエガモ												23	
3	27	オカヨシガモ	27	7	1	1								27	
4	28	ヨシガモ		2	2			6	2	1				28	
5	29	ヒドリガモ												29	
6	32	カルガモ	28	26	28	25	18	15	10					32	
7	33	マガモ					2	2	4					33	
8	34	オナガガモ												34	
9	35	コガモ						2						35	
10	39	ホシハジロ				1								39	
11	43	キンクロハジロ	1	4	4	3				1				43	
12	56	ミコアイサ												56	
13	69	アマツバメ												69	
14	82	ツツドリ												82	
15	89	キジバト	6	7	6	8	2	2	3					89	
16	93	アオバト				2								93	
17	96	クイナ												96	
18	100	バン		1										100	
19	101	オオバン	5	4	4	4		2	2					101	
20	117	カイツブリ	3	13	7	9	5	4	7					117	
21	119	カンムリカイツブリ				1			1					119	
22	128	ケリ												128	
23	134	イカルチドリ												134	
24	135	コチドリ												135	
25	163	トウネン												163	
26	183	タシギ			1	2	2	1	2					183	
27	188	インシギ												188	
28	213	ユリカモメ												213	
29	315	カワウ		1	1	2		1	3					315	
30	328	ゴイサギ			1									328	
31	333	アオサギ	1	2		4	1							333	
32	335	ダイサギ			1			1						335	
33	337	コサギ		1	4	2		1	7					337	
34	343	ミサゴ	1		1									343	
35	344	ハチクマ												344	
36	352	ツミ												352	
37	353	ハイタカ	3	1		3	3	1	3					353	
38	354	オオタカ			2			1						354	
39	359	トビ	1		1									359	
40	363	サシバ												363	
41	366	ノスリ	1											366	
42	384	カワセミ	6	6	3	5	3	3	3					384	
43	389	アリスイ												389	
44	390	コゲラ	4	5	5	2	5	4	2					390	
45	402	チョウゲンボウ				2		1	1					402	
46	407	ハヤブサ												407	
47	411	サンショウクイ												411	
48	412	リュウキュウサンショウクイ		1	1									412	
49	419	サンコウチョウ												419	
50	425	モズ	1	5	3	1	2	4	3					425	
51	435	ハシボソガラス	21	4	8	22	11	12	8					435	
52	436	ハシブトガラス	54	127	52	91	52	80	44					436	
53	439	ヒレンジャク												439	
54	442	ヤマガラ	3	7	4	4	6	6	2					442	
55	447	シジュウカラ	14	18	34	15	21	20	9					447	
56	456	ヒヨドリ	98	68	72	68	49	35	32					456	
57	461	ツバメ												461	
58	462	イワツバメ												462	
59	463	コシアカツバメ												463	
60	464	ウグイス	3		1	1	4	1	2					464	
61	466	ヤブサメ												466	
62	467	エナガ	11	7	3	4	2	16	1					467	
63	476	センダイムシクイ												476	
64	479	エゾムシクイ												479	
65	481	メボソムシクイ												481	
66	482	オオムシクイ												482	
67	484	オオヨシキリ												484	
68	501	メジロ	8	16	16	10	9	7	4					501	
69	507	ムクドリ	14	4	5	18	10							507	
70	509	コムクドリ												509	
71	514	トラツグミ			1									514	
72	526	シロハラ	3	26	20	18		4	4					526	
73	527	アカハラ												527	
74	531	ツグミ	25	8	14	23	10	2	9					531	
75	532	ハチジョウツグミ												532	
76	533	エゾビタキ												533	
77	537	コサメビタキ												537	
78	539	オオルリ												539	
79	545	コマドリ												545	
80	550	キビタキ												550	
81	556	ルリビタキ			2									556	
82	561	ジョウビタキ	8	11	11	6	3	5	1					561	
83	564	イソヒヨドリ	2		2	1		1	1					564	
84	568	ノビタキ												568	
85	574	ニューナイスズメ												574	
86	575	スズメ	28	44	42	10	51	23	10					575	
87	584	キセキレイ			1	1	2		1					584	
88	585	ハクセキレイ	21	13	10	7	15	18	11					585	
89	586	セグロセキレイ	1		2	1		3						586	
90	591	ビンズイ				2								591	
91	595	タヒバリ												595	
92	597	アトリ	5	38	52	4	13	5	2					597	
93	598	シメ		1			1	2	2					598	
94	600	イカル		14	4	17	1	1	13					600	
95	608	カワラヒワ	19	10	26	8	20	31	20					608	
96	618	ホオジロ												618	
97	625	カシラダカ												625	
98	633	アオジ	2	6	8	5	6	2	1					633	
99	11	ドバト	○	○	○	○	○	○	○					11	
100	25	ソウシチョウ	1	5										25	
		カッコウSP													
		ムシクイSP													
		タカSP													
101	23	ハシビロガモ												23	
102	543	ノゴマ												543	
種類数(種)			35	36	44	42	32	37	37						
個体数(羽)			429	513	468	414	337	319	230						
天候			曇	晴	晴	晴	晴	晴	晴						
参加者数(人)			27	23	18	33	22	42	33						